

ひめまつ

74



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ
目次
第七十四号

表紙……今井 彩綾
題字……石川 木魚
校歌
生活目標

グラフ
「学園の四季」「写真部作品」

論説

AIの時代こそ読解力を高めよう……………校長 須賀英之……………1

特集

●グローバル人材の育成と世界を体験する……………4

●二つのプロジェクト始動とリアルドラゴン桜・アスリートサポート……………5

●ハンガリー東京五輪事前キャンプ予定地(小山市)にておもてなし……………6

●仏ヴォークリューズ県・栃木県友好三十周年と世界一のパティシエによる講習会開催……………7

トピックス……………8

難関大学合格・いちご王国の夕・首里城再建および台風被災地への募金報告

在校生の活躍……………9

宇都宮東警察署長より感謝状・おにぎりコンテスト・硬式野球部・弁論全国大会

一年	六組	高野	七菜子
一年	十八組	金子	芽生
一年	二十四組	小平	文綯
三年	一組	松井	菜那
三年	八組	星	恵理花
三年	十二組	山本	花乃

令和元年度 校内読書感想文コンクール入賞者

心に強く響くもの 校内読書感想文コンクール入賞作品

【第三学年の部】校長賞

第一位	フランシーヌ・クリストフ 著	「いのちは贈りもの〜ホローコーストを生きのびて〜」を読んで	三年	一組	齋藤	遼
第二位	比喜 富子 著	「白旗の少女」を読んで	三年	二十五組	高橋	未沙
第三位	小林 快次 著	「恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ」を読んで	三年	五組	石野	響子

【第二学年の部】校長賞

第一位	こうの 史代 著	「この世界の片隅に」を読んで	二年	一組	中野	杏梨
第二位	有川 浩 著	「阪急電車」を読んで	二年	四組	坂本	舞光
第三位	重松 清 著	「きみの町で」を読んで	二年	四組	根本	花凜

【第一学年の部】校長賞

第一位	東田 直樹 著	「自閉症の僕が跳びはねる理由」を読んで	一年	一組	見目	莉里佳
第二位	アンジー・トーマス 著	「ザ・ヘイト・ユウ・ギヴ・あなたがくれた憎しみ」を読んで	一年	六組	山中	心暖
第三位	川口 俊和 著	「コーヒーが冷めないうちに」を読んで	一年	一組	西川	奈菜子

各種コンクール入賞作品

【栃木県警察本部「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール】

栃木県警察本部警務部県民広報相談課長賞

【宇都宮税務署「税に関する高校生の作文」】

宇都宮税務署長賞

【下野新聞社主催 第十六回「新聞を読んで」感想文コンクール】

入選

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

旧・一年	三組	若林	楓華
旧・一年	十三組	柳澤	菜乃羽
旧・一年	十九組	下山	ひかる
旧・一年二十四組		平野	莉奈
旧・一年二十五組		若森	萌々花
旧・二年	二組	長田	桃歩
旧・二年	六組	鈴木	百音
旧・二年	九組	細田	陽彩乃
旧・二年	十四組	川島	宝之伽
旧・二年	二十組	松嶋	耀汰
旧・二年二十五組		下平	滲奈

旅行記

【京都研修旅行】

世界に誇る和の伝統文化体験

【ドイツサッカー海外研修旅行】

世界をリードするドイツのサッカー・文化・歴史を体験した7日間

【フランス・オーストリア海外研修旅行】

文化の伝統と先端を知る

【オーストリア海外研修旅行】

オーストリア語学研修を終えて

【修学旅行】

今を生きる女学生として

何気ない瞬間の中にある幸せ、そして平和

【一日旅行】

一日旅行の学び

忘れられない一日旅行

新緑と共に輝く絆

一日旅行

初めての一日旅行

音楽と友情の一日

「おもしろい」が、交差する五月祭・国立科学博物館

未来を見据えて

学びと笑いと友情と

新しい出会い

学びある一日

音楽を好きでいること

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

委員会・部活動報告

風紀交通安全・図書・美化・茶道・華道・書道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・写真・吹奏楽・合唱・硬式野球・女子サッカー・男子サッカー・卓球・水泳・女子バレー・男子バレー・男女硬式テニス・男子ソフトテニス・女子ソフトテニス・バドミントン・男子バスケット・女子バスケット・柔道・剣道・スポーツチャンバラ・応援団・チアダンス・JRC・インターアクトクラブ・百人一首・デイベート・パティシエ・軽音楽・イラスト・陸上競技・駅伝・日本音楽・体操・そば打ち

二年	八組	増渕	天柊
二年	八組	蓬田	綾美香
二年	二十組	森田	琉也
一年	四組	床井	洋太
一年	五組	植木	隆行
一年	十六組	森下	紗帆
一年	十八組	安藤	夏凜
一年	十九組	樋口	三響
一年	二十四組	小平	文綯
二年	七組	鈴木	亮太
二年	八組	中山	歩
二年	十六組	金井	ゆめの
二年	十七組	近野	ふうか
二年	二十組	佐久間	仁美
二年	二十五組	手塚	美唯

附属中コーナー 91

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集 コンクール入賞作品・校内読書感想文コンクール
入賞作品・一年間の反省と進級にあたっての抱負・写真で見る中学校生活・部活動紹介・立志式記念講演

宇都宮共和大学・宇都宮短期大学コーナー 117

宇都宮共和大学／シテイライフ学部 子ども生活学部

イベント・トピックス・在校生メッセージ・就学支援・スカラシップ

宇都宮短期大学／音楽科・人間福祉学科・食物栄養学科

教育実習生、母校の教壇に 133

地歴公民／京都府立大学 荒井 陸人

音楽／昭和音楽大学 小倉 賛子

令和元年度 生徒会報告 136

主な大学合格者数一覧(平成二十四年三月～平成三十一年三月) 142

主な就職内定状況(令和元年度) 143

編集後記 144
編集委員長・吉田 脩馬

校史と校章



入学式
4月

誓いの言葉
～期待に胸が膨らみます～

新入生～高校生活のはじまり～



一日旅行
5月

憧れの東京大学

学園の 四季



スポーツ
フェスティバル
6月

バレーボール



バスケットボール



サッカー



合唱コンクール
7月



美しいハーモニー

創立
119周年記念
学校祭
11月



模擬店のにぎわい

スロローク
輝く笑顔〜令和に響け青春の序章〜

須賀学園創立119周年を記念した中学・高校合同の学校祭が11月2日に大勢のお客様をお迎えし、本学園教育会館と須賀栄子記念講堂大ホールにて盛大に行われました。

各科・各クラス・各部ごとに日頃の勉強や練習の成果を披露するとともに、絆を深める1日となったようです。



吹奏楽演奏会(須賀栄子記念講堂大ホール)



チアダンス部(野外ステージ)



生活教養科ファッションショー(須賀栄子記念講堂大ホール)



生活教養科(野外ステージ)



音楽科によるオペレッタ上演(須賀栄子記念講堂大ホール)



調理科卒業作品展示(教育会館)

修学旅行 in 沖縄 R1.12

本格的な冬を前に、
2年生は修学旅行に
出発。現地では、12月と
は思えない温暖な気候の
中、さまざまな体験を通し、
友情を深めてきました。



美ら海水族館



エイサー



郷土料理



ひめゆりの塔に献花



サトウキビの収穫



イノー観望



琉球村



サンシン



沖縄県立博物館おきみゆー



おきなわワールド



楽しかった班別行動





準特選『宿題』

3年5組 矢田 正成

写真部 作品

第41回栃木県高等学校総合文化祭で学校賞を受賞した写真部の入選作品です。



準特選『ヒヒイイイン』

2年1組 星野 桃加



準特選『情意一体』

2年9組 伊佐岡 徳真



入選『Esczpe』

3年5組 矢田 正成



入選『視線』

2年17組 沼尾 柊



奨励賞『残暑の御三時』

1年10組 新家 梓

論説

AIの時代こそ読解力を高めよう

校長 須賀英之



読解力は人間固有の優れた能力

経済協力開発機構(OECD)が進めているPISAと呼ばれる国際的な学習到達度調査の結果、日本の生徒(十五歳)の読解力は、世界七十九カ国のランキングにおいて急激に下降(二〇一二年四位↓二〇一八年十五位)したことが昨年末に発表され、教育界では議論が巻き起こっています。

その要因分析と対策については、①コンピュータの画面上(CBT方式)で行われる調査に日本人は不慣れなため、文部科学省では全国の小中学生に一人一台コンピュータ端末を配備するとの方針がある一方、

②日本の生徒は他国に比べてSNSやゲームに費やす時間が多いため、コンピュータの使用を制限して、読書やグループ学習の時間を増やすべき、と指摘する声もあります。

AI(人工知能)を使って東京大学の入試に挑戦した「東ロボ・プロジェクト(国立情報学研究所新井紀子教授による)」によれば、AIは人間の常識に基づく判断力を学習することが不得意なことに加えて、数学の問題文や英語問題のイラストを理解する力が乏しく、現在の技術では

生徒の学習到達度調査(PISA)2018年調査結果

	2012年	得点	2015年	得点	2018年★	得点
1	上海	570	シンガポール	535	北京・上海・江蘇・浙江	555
2	香港	545	香港	527	シンガポール	549
3	シンガポール	542	カナダ	527	マカオ	525
4	日本	538	フィンランド	526	香港	524
5	韓国	536	アイルランド	521	エストニア	523
6	フィンランド	524	エストニア	519	カナダ	520
7	アイルランド	523	韓国	517	フィンランド	520
8	台湾	523	日本	516	アイルランド	518
9	カナダ	523	ノルウェー	513	韓国	514
10	ポーランド	518	ニュージーランド	509	ポーランド	512
11	エストニア	516	ドイツ	509	スウェーデン	506
12	リヒテンシュタイン	516	マカオ	509	ニュージーランド	506
13	ニュージーランド	512	ポーランド	506	アメリカ	505
14	オーストラリア	512	スロベニア	505	イギリス	504
15	オランダ	511	オランダ	503	日本	504

A Iは東大に合格できないことが判明しました。読解力はA Iに取って代われない人間固有の優れた能力であることがわかり、ホッとされるお話です。

私は、文章や図表がコンピュータの画面上か紙の上にあるかには関わらず、こうした読解力こそが真の学力の基礎だと考えています。江戸時代から、勉強が「読み、書き、そろばん」と言われてきた所ではないでしょうか。

リーディングスキルテストとは

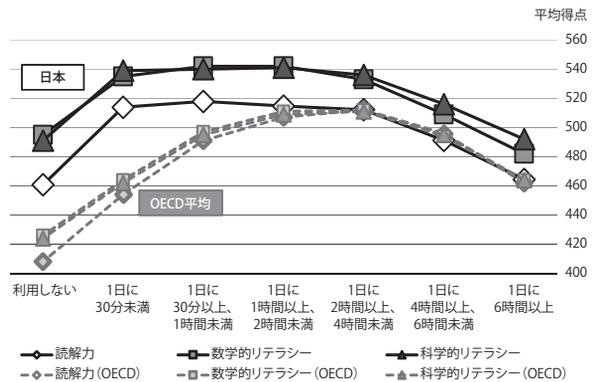
先ほどの新井教授は、「事実について書かれた短文を正確に読むスキル」を測るための「リーディングスキルテスト（RST）教育のための科学研究所による」を開発し、この二年間に小学生から大人まで十万人が診断を受けています。本校の国語科の先生も先日、東京で受験しました。コンピュータ上で、七項目の選択式二十八問を実質三十分で回答する簡便なものですから、今年は、皆さんにも学校で挑戦していただけるよう準備を進めています。

例題で分かる通り、機能語（文と文の間で文法的な関係を示している語。助詞、前置詞や接続詞、例えば、と、に、のとき、ならば、など）を正確に理解しないと、正解は得られません。

RSTの例題（A Iに負けない子供を育てる

（新井紀子二〇一九年二月東洋経済新報社）より

学校外での平日のインターネットの利用時間別の3分野の平均得点



問一（係り受け解析）

江戸時代の天皇と朝廷は、幕府に完全に統制され、財政的にも幕府に支えられていた。幕府は朝廷に三万石を与え、そのなかから皇族や公家は家格に応じた禄高を得ていた。

右記の文から、かつこの中に当てはまる最も適当な語句の番号は？
公家は（ ）から家格に応じた禄高を得ていた。

- ① 天皇
- ② 幕府
- ③ 皇族
- ④ 朝廷

問二（同義文判定）

原子に含まれる電子の数と陽子の数は等しいので、原子は全体として電氣的に中性である。

右記の文と以下の文が表す内容は同じか、異なるか？

原子は全体として電氣的に中性なので、原子に含まれる電子の数と陽子の数は等しくなる。

- ① 同じである
- ② 異なる

問三（推論）

日本の面積は、約三八〇〇万haです。一九九〇年から二〇一〇年の間、毎年世界全体で失われた森林の面積は、日本の面積の約十八%にあたります。

右記の文から下記の文はどれにあたるか？

一九九〇年から二十年間に、日本の面積の三倍以上の森林が世界全体で失われた。

- ① 正しい
- ② まちがっている
- ③ 判断できない

（注）RSTは、以下の七項目から四問ずつ出題される。

係り受け解析（文の構造を判断）、照応解決（指示代名詞等が

あらかずもの）、同義文判定（二つの文の意味は同一かどうか）、

推論（文の意味を常識で理解）、イメージ同定（文章を図やグ

ラフと比べる）、具体例同定（言葉の定義と具体例の合致―辞書と理数系教科書の由来による二分野）

教科書を正確に読んで理解する

文部科学省による高大接続改革では、新しい学力の三要素として「知識・技能」に加えて「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が提唱されています。高校の学習指導要領（二〇二二年度）では、従来の「国語総合」は「言語文化」と「現代の国語」に分かれ（ともに必修）、現代の社会生活に必要とされる論理的かつ実用的な文章を考察することが重視されています。新しい「論理国語（選択）」では、多様な事実等について書かれた文章を正確に読み、書くことに重点が置かれることになりました。従来の文学作品の鑑賞とは異なる読解力が、こうした近年の高大接続改革の中で重要となることがわかります。

では、どうしたら読解力を高めることができるのでしょうか。自身の経験から述べると、地道に教科書をきちんと読んで理解すること。本当に理解できているかどうかを、その要旨を自分自身の言葉でノートに書いてみることによって測ることをお勧めします。「スワイプ読み」では真の学力はつきません。

大学入学共通テストは、高校で学ぶ教科書から出題されます。しかし、これからは、どの科目においても、教科書に載っているキーワードをただ暗記するだけでは、高得点は期待できません。本を読んだら、感想文だけでなく要約してみることも。また、本の帯（キャッチコピー）を自分なりに作ってみることもよいと思います。

「リアルドラゴン桜」の授業に本校に毎月お越しいただいている、東大経済学部在学中の西岡竜誠さんは、ベストセラー「東大読書」の中で「本をただ読むではいけない。本の読者ではなく、著者に取材する記者の気持ちで読むこと、つまり記者になったつもりでなぜ？ どうして？ と考える、書いてあることは本当？ と疑問をもって自分で考えてみること。」を勧めておられます。私は、お友達同士で同じ本を読んで、実際に著者と記者になったつもりで、質疑を交わしてみることも楽し



西岡さんと対談

いのでは、と思っています。

「リアルドラゴン桜

プロジェクト」

本校ホームページ



楽しむ心をもって

自分を奮い立たせる

皆さんは、創立二二〇周年という記念すべき年に本校に学んでいます。西暦一九〇〇年に須賀栄子先生は、二十七歳の若さで学園を創立され、以来三十五年にわたり、生徒と寝食を共にして、共和の精神により実践に徹する気品高い女性の育成に身を捧げられました。先生は、当時の女性としては最高の教育を受け、英語、理科、裁縫などを学び、史記や論語などの漢籍にも通曉していたとのこととす。

孔子は、「之（これ）を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。（論語第十四雍也篇）」と述べています。これは、「物事を知っただけでは、それを好きな人には及ばない。それを好きなだけでは、それを楽しんでいる人にはかなわない。」という意味です。皆さんが、もし勉強にくじけそうな時には、ぜひ自分と周りを見つめ直して、文章を読み、書き、学ぶ楽しみを見つけ出してください。単に大学受験のためではなく、AIの時代だからこそ、読解力を高める自分のオリジナルな方法を見つけて、楽しんで、そして再び心を奮い立たせることを期待しています。

特集

グローバル人材の育成 〜世界を体験する〜



本校で行われた留学説明会の様子

人やモノ・情報の、国境を越えた移動が活発化している現在、そのような「ボーダーレス」な社会の中で活躍できるグローバル人材が求められています。

本校では、これまで、各種海外研修旅行、留学生の派遣・受け入れ、英語ネイティブ教員の採用などを通じた国際教育を行ってきました。今年度からは新たに、生徒・保護者対象の「留学説明会」の開催や帰国子女入試の実施などを行い、より、世界を身近に感じられる環境を提供しています。また、この春休みには「高校生 Sustainable Summit TOCHIGI 2020」を宇都宮共和大シテイキャンパスで開催します。これはJTBが主催するSDGs(持続可能な開発目標)に関するセミナーで、難関大学に在籍する留学生や他

の高校生との協働を通して持続可能な世界の実現を様々な視点から考えるとともに、自己と世界のつながりを知り、自己の役割を認識するためのプログラムが用意されています。さらに、来年度より、高校普通科中高一貫および特別選抜コースの二年生を対象に、国際金融都市国家であるシンガポールでの**修学旅行を実施する予定**です。

中学では一年生の学力強化合宿において「**TOKYO GLOBAL GATEWAY (東京英語村)**」の**研修**に参加。アトラクションエリア(エアポートゾーン)では本物そっくりの飛行機の機内でネイティ



校内各所に設置された
プラズマディスプレイによる海外ニュース

ブ講師のCAと英会話をし、アクトイブイマージョンエリアでは「身近なものから効果音を作り出そう」、「コマ撮り作品を作ろう」というテーマで学習。どちらも普段の生活では味わえない空間で積極的に英語を使うことができました。前日に受講した、アルバ・エデュ代表の竹内明日香先生によるコミュニケーションとプレゼンテーションの学習(「はなすちから」)も大変参考になったようです。

二つのプロジェクト始動 ～リアルドラゴン桜・アスリートサポート～

「教育改革」に揺れる昨今、しかし、急激に変化する社会のあらゆる場面で、知識そのものだけではなく、その知識をいかに主体的に活用して生き抜いていくかが問われていることに変わりはありません。そのような中、本校では「リアルドラゴン桜」と「アスリートサポート」の二つの教育プロジェクトが始動しました。

リアルドラゴン桜プロジェクト

元暴走族のリーダー・桜木建二が、偏差値三十六の高校に着任し、生徒を東大に合格させるまでを描く大人気漫画『ドラゴン桜』。その名を冠したこのプロジェクトは、学校とリクルート（スタディサプリ）、株式会社コルク・東龍門チームが連携して難関大学合格を目指すプロジェクトです。

内容は、普通科特別選抜コース一年生に対する、現役東大生によるリアルドラゴン桜授業や学習法コーチングが中心。夏休みには「夏



期特訓」も実施しました。スタディサプリを活用した平時の学習と講師の方々からのレクチャーをもとに進路実現を目指します。

講師陣のリーダーは、東京大学経済学部四年生の西岡孝誠先生。『東大読書』などのベストセラーで知られ、大学生ながら、多方面で活躍なさっています。

昨年三月、本校からも長沼中出身の宮田先輩が東大に合格しました。先輩の次なる夢は箱根駅伝に出ること。私たちがそれぞれの「夢」に向かって頑張ります。

アスリートサポート



限られた時間の中で効率的に学習することが求められる運動部生には、学習習慣の定着と授業内容理解の積み重ねが必須です。本校では、運動部所属生徒に対し、文武両道に対する意識を喚起し、生徒の充実した高校生活につながるような取り組みを行っています。

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックを契機とするスポーツ・健康関連産業の振興により、生徒の新たな進路が拓かれつつある中、一般から専門までの幅広い知識と主体性を養うことで、自分に最も適した将来を見つ



けましょう。

一・フレッシュユマン研修

運動部に所属する一年生に対し、多様な専門分野の講師陣による研修を月一回、夏休みには「夏期アスリート研修」を実施します。

二・「すらら」による学習習慣の定着

インターネット教材「すらら」を活用した学習を教員がサポートし、

学習習慣の定着を促します。ここでは、国語・数学・英語の一般教科以外にも英検対策の講座などが用意されています。また、学習者に最適なオーダーメイドの問題とつまずき診断をAIが提供。より効果的な学習が可能です。

三・定期的な個別面談による進路指導

サポート教員による面談を定期的に実施し、自己分析や目標設定をサポートします。

ハンガリー東京五輪事前キャンプ予定地(小山市)にておもてなし

七月一日(水)「世界水泳選手権」(韓国)にむけて、小山市でテストマッチを行うために来日されたハンガリー水球連盟ナショナルチーム歓迎夕食会にて本校生徒・職員がおもてなしをしました。



ハンガリー音楽演奏と声楽披露



グヤーシュ



選手の身長にビックリ!



リンツァ



選手との全体写真



ハンガリー特命
全権大使と握手



選手にお土産を
渡しました

栃木県が、二〇二〇年東京オリンピック事前キャンプ地に決まり、選手たちの緊張感が伝わってきました。選手の皆様は、ハンガリーの郷土料理「グヤーシュ」と伝統のス

ウィット（四種類）を作っておもてなしをしました。
 宇短附音楽科の阿久津先生御夫妻と鎌田先生には、国家や日本の唱歌など素晴らしい演奏をしていただきました。
 栃木県北村副知事、小山市大久保市長、駐日ハンガリー大使館特命

仏ヴォークリューズ県・栃木県友好三十周年 世界一のパティシエによる講習会開催

令和元年十一月十三日（水）、栃木県との友好三十周年を記念して仏ヴォークリューズ県モリスシャベール県議会議長ほか十四名の視察団が来県され、十六日（土）まで本校との交流を更に深めました。
 十一月十五日（金）には「世界一のパティシエ」ジャンクリストフ・ヴィット先生が来校され、午前中は和の伝統文化を体験頂きました。午後はパティシエ講習会を開催していただき、夢のような経験ができました。



お箏でお出迎え



茶道を体験



和食天ぷらを一緒に仕込み

全権大使パラノビチ・ノルバート様、栃木県総合政策部の皆様にはお世話になりありがとうございました。
 ハンガリーナショナルチームの皆様、来年のオリンピックでは「金メダル」を期待しています。



フィナンシェの生地を作成



プロの卒業生にもお手伝いいただきました



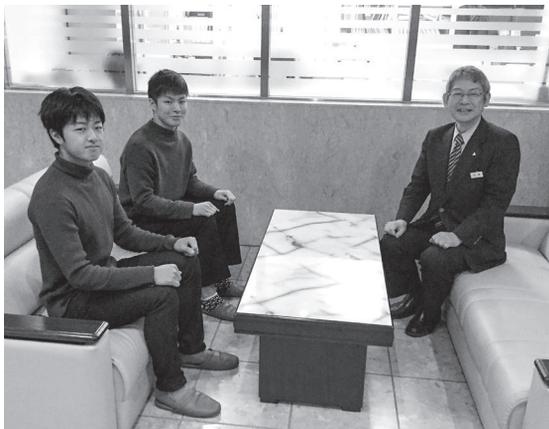
ヴィット先生からサインをいただきました

ジャンクリストフ・ヴィット先生はパティシエの二〇一四年度世界チャンピオンであり、二〇一五年にはMOF（国家最優秀職人章の称号）を受章されました。
 オリープのフィナンシェをヴィット先生に教わったことは、私たちの最高の思い出になりました。

トピックス

東京大学をはじめ、
難関大学に多数合格！

昨年三月、多くの先輩方が東大をはじめとする難関大学に合格しました。写真の先輩は、東京大学に合格した宮田一馬君（長沼中出身）と東京工業大学に合格した大沼弘君（南河内第二中出身）です。先輩たちは高い志の下、常に自己の現状を分析し、学習・生活の両面において試行錯誤を重ねながら、自分に最適な受験環境を作っていたとのこと。
卒業生の力強い歩みを励みに、現役高校生諸君も頑張りましょう。



「いちご王国の夕」記念
セレモニーに参加しました！



令和二年一月十五日（水）、「いちご王国の夕」記念セレモニーが、栃木県庁で開催され、本校生徒・学生が参加しました。
生活教養科生徒は、県生花商協同組合のご協力によるブライダルブーケを手に、自らデザイン・制作したドレスを披露。とちぎ観光いちご園連絡協議会ご提供の大粒の完熟スカイベリーをPRしました。写真は、いちご王国国王・福田知事のアテンドを務めた王女役の生徒二名です。
ロビーでは調理科・パティシエ部の生徒と宇短大食物栄養学科の学生が栃木県産のいちごを使用して製作したパウンドケーキやタルトなどを販売。「おいしそうね」というお客様のお声かけが何よりの励みになりました。

台風十九号栃木県災害義援および
沖縄県首里城再建支援のための
募金活動報告



昨年日本を横断した台風十九号。本県にも大きな被害をもたらされました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。本校インターiak クトクラブは、会長の普通科二年・熊本勇太郎君の呼びかけにより、学校祭で募金活動を実施。来校者の方々、宇都宮西ロータリークラブ会員の皆様、および本校生徒・職員の善意の募金とクラブの活動費から、栃木県庁内「令和元年台風第十九号栃木県災害義援金」に寄付しました。
また、昨年十月には世界遺産である首里城が全焼。沖縄はもとより日本中が驚きと悲しみで包まれました。修学旅行での見学を楽しみにして本校二年生。見学は叶いませんでしたが、生徒評議会にて見学料の返金分を沖縄県に寄付することに決定。
一刻も早い復旧・再建をお祈り申し上げます。

在校生の活躍

宇都宮東警察署長より感謝状の贈呈！

七久保 裕隆君・長谷 颯人君・

安藤 愛夏さん（情報商業科3年）

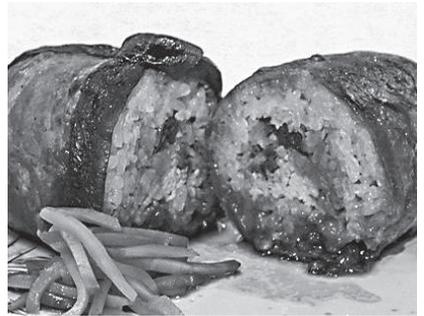


十二月二十日、JR宇都宮駅交番のガラスを、酔っ払いが割るという事件が発生。その場に居合わせた七久保君・長谷君・安藤さんの三人が、事件の様子を警察に伝え、犯人逮捕に協力しました。

一月九日、宇都宮東警察署長が本校に来校。感謝状の贈呈式が行われました。

とちぎのおにぎりスター誕生！
おにぎりコンテスト最優秀賞受賞！

「〴〵なすひかり」ととちぎの星を食べようキャンペーンの一環として、「とちぎ



フルおにぎり」。かんぴょうやニラなど県産の食材をたっぷりつかった肉巻きおにぎり、本校学食ほか、スーパーオートタニで販売され、好評を得ました。

硬式野球部 初のベスト8



今年で創部九年目を迎えた硬式野球部。

七月二十日に栃木県総合運動公園野球場で行われた第一〇一回全国高等学校野球選手権栃木県大会三回戦において、シードの強豪校に勝利し、創部以来初となる夏の大会ベスト8

に進出しました。さらに上位の成績を目指して、二〇一七年六月に飯田町に完成した全面人工芝の専用グラウンドで、日々練習に励んでいます。今後、も応援よろしくお願いします。

弁論全国第二位・文化庁長官賞受賞！

阿賀 愛紗さん

（普通科特進コース2年）

第四十三回全国高等学校総合文化祭弁論部門において、阿賀さんが第二位・文化庁長官賞を受賞しました。

自身が目の当たりにしたアフリカのスラムの現実を「一人でも多くの人に知ってもらいたい」という気持ちで臨んだ今大会。阿賀さんの問いかけるようなメッセージは、会場にしっかりと届いたようです。

また、この功績により、阿賀さんは栃木県高校文化芸術賞も受賞しています。





◆ ◆ 校史と校章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立119周年の記念日を迎えました。学園創立120周年の記念すべき年となる今年には、記念式典や演奏会、調理科創設50周年の祝賀会を開催します。本学園の教育実践の全容が広く内外に示されることを願っています。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代校長の須賀淳先生(須賀学園学園長)です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、学園を大きく発展されました。

そして、現在、平成27年4月に第4代校長に就任なさった須賀英之先生のもと、第3体育館と硬式野球場が新設されました。また、昨年4月には宇都宮短期大学に食物栄養学科が開設されました。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育(人間形成の教育)」の精神が、120年かわらずに脈々と生きついでいます。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせ、図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。

高文祭写真展 **入 選**



『Say cheese』

修学旅行 沖縄県首里城にて

3年1組 水沼 愛実